

平成31年度事業報告  
(自 平成31年4月1日 ～ 至 令和2年3月31日)

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

I. 美術館運営事業

1. 展覧会の開催

昨年10月の台風19号及び新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館が発生したため、MOA美術館を291日(※臨時休館 令和元年10月12日・15日・16日・18日・19日・20日・21日 計7日間 当初計画では開館予定298日)、箱根美術館を年間306日(※臨時休館 令和元年10月12日・13日・令和2年3月28日・29日 当初計画では310日)開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に特別展、企画展、平常展を開催した。

(1) MOA美術館(総入館者数 276,140名)

① 特別展 URUSHI 伝統と革新

平成31年3月15日(金)～令和元年4月16日(火)(期間入館者数 35,112名)  
出陳件数 137件

日本伝統漆芸展の35回を記念して、江戸時代末期から現在日本工芸会で活躍する作家の漆芸作品を展観した。

② 北斎漫画と富嶽三十六景

平成31年4月19日(金)～令和元年5月21日(火)(期間入館者数 30,871名)  
出陳件数 73件

北斎の「富嶽三十六景」には「北斎漫画」の人物ポーズや構図等を生かして描かれたと思われる箇所がいくつかみられる。本展では、その関連性を考察しつつ「北斎漫画」と「富嶽三十六景」全46図を紹介した。

③ 広重が描いた静岡 東海道五十三次を中心に

令和元年5月24日(金)～6月25日(火)(期間入館者数 25,999名)  
出陳件数 90件

日本最大の観光イベントであるディスティネーションキャンペーンが平成31年4月より令和元年6月まで静岡で行われることにあわせ、東海道五十三次のうち静岡県内の22宿を取り上げ紹介した。

④ 特別展 第21回岡田茂吉賞

令和元年6月28日(金)～7月16日(火)(期間入館者数 12,324名)  
出陳件数 59件

現代のトップクラスの工芸家と今後の活躍が期待される若手工芸家の作品を紹介

介し、現代日本工芸の最前線を探訪した。

- ⑤ 特別展 井上涼展 夏休み！BYOBUびじゅチュ館  
令和元年7月20日（土）～8月27日（火）（期間入館者数 49,623名）  
出陳件数 9件  
井上涼の新作の映像インスタレーションに加え、尾形光琳筆 国宝「紅白梅図屏風」をモチーフにした新作作品、NHK Eテレ『びじゅチューン！』で制作したアニメーションの原画、そして歌のもとになった美術作品などを展示した。
- ⑥ 奇想の又兵衛 山中常盤物語絵巻  
令和元年8月31日（土）～9月24日（火）（期間入館者数 17,739名）  
出陳件数 22件  
又兵衛が描いたといわれる絵巻群の中で、最も生氣あふれる力強い作風で、又兵衛自身の関与が最も高いと考えられる重文「山中常盤物語絵巻」全巻を一堂に展覧し、又兵衛絵巻の魅力に迫った。
- ⑦ リニューアル3周年記念名品展 第2部 桃山・江戸の華とわび  
令和元年9月27日（金）～10月28日（月）（期間入館者数 14,155名）  
出陳件数 64件  
華やかさとわびの美意識が共に高揚した桃山・江戸時代の美術を所蔵品より精選し紹介した。
- ⑧ リニューアル3周年記念特別展 仁清 金と銀  
令和元年11月1日（金）～12月8日（日）（期間入館者数 39,119名）  
出陳件数 72件  
御室窯における作風の展開をたどりつつ、特に金や銀を使用した色絵陶器を中心に展覧した。また、京極家伝来の色絵茶壺を取り上げ、その図柄と共通する屏風や工芸を併せて展覧し、絵画や意匠との関連性を探った。
- ⑨ 琳派を楽しむ 光悦・宗達・光琳・乾山・抱一  
令和元年12月14日（土）～令和2年1月21日（火）（期間入館者数 28,679名）  
出陳件数 50件  
琳派の代表作家における絵画と工芸の優品を展覧することで、今なお私たちの生活のなかに生き続ける琳派芸術の魅力を紹介した。
- ⑩ 名品展 国宝「紅白梅図屏風」  
令和2年1月24日（金）～3月17日（火）（期間入館者数 40,715名）  
出陳件数 57件  
国宝「紅白梅図屏風」を中心に、コレクションの各ジャンルを代表する名品を精選し展覧した。

⑪ 歌川広重 東海道五十三次

令和2年3月20日（金）～4月8日（水）（期間入館者数 7,754名）

出陳件数 78件

街道風景や旅人の様子を細かく描写するとともに、四季の変化や晴、雨、雪、霧、風などの気象の変化、時刻の変化等を巧みに画面に取り入れ、臨場感をもって深い旅情を表した「東海道五十三次」全55枚を展観した。

⑫ 特集陳列 人間国宝大澤光民のわざと美

平成31年4月19日（金）～令和元年6月25日（火）

出陳件数 11件

⑬ 特集陳列 松井康成 練上げの技

令和元年9月27日（金）～10月28日（月）

出陳件数 11件

⑭ 特集陳列 人間国宝奥山峰石の仕事 一代一食

令和2年1月24日（金）～4月8日（水）

出陳件数 8件

(2) 箱根美術館（総入館者数 99,715名）

① 常設展示

a) 平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（火）

重要文化財1件を含む縄文から江戸時代に至る日本古陶磁を中心とした常設展示を開催した。

b) 別館

平成31年4月1日（月）～令和2年2月23日（日）

MOA岡田茂吉賞受賞作家の作品10件を展示し、創立者岡田茂吉が提唱した事業を、解説及び写真パネル等により紹介した。

令和2年3月1日（日）～令和2年3月31日（火）

創立者岡田茂吉の生涯と事蹟を、自筆書及びパネル等により紹介した。

② 小企画展

a) 平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（火）

展示室1にて「色絵陶磁器」展の開催

b) 令和元年6月14日（金）～7月14日（日）

展示室2にて「松井康成」展の開催

c) 令和元年7月15日（月）～9月25日（水）

展示室2にて「人間国宝」展の開催

d) 令和元年9月27日（金）～令和2年3月31日（火）

## 展示室2にて「朝鮮陶磁」展の開催

### (3) 移動美術展

会場：玉野市中央公民館ギャラリー・多目的室

日時：令和2年2月1日（土）

対象：一般市民

内容：東海道五十三次10点の展示（入館者数 1,641名）

美術セミナー3回（198名）

## 2. 調査研究

### (1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）

以下の研究課題の初年度として、作品実見観察調査、チェンマイ漆樹植林地のタイ産漆の調査、ベトナムにおける螺鈿作品の調査を実施した。

研究課題名：環南シナ海・インド洋海域が育む近世螺鈿の諸相と貝文化圏の構想  
—シェルロード

研究代表者：内田篤呉

## 3. 美術品管理

「色絵十二ヶ月和歌花鳥図角皿」尾形乾山 が重要文化財に指定された。

## 4. 賛助会員（友の会）の募集

会員数 8,471 名

## 5. その他

### (1) 季刊誌の発行

財団活動を広く知らせるための「美の友」誌を、4月・7月・10月・1月の4回発行し、MOA美術館来館者と友の会会員に配布した。

### (2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

美術品の貸出しを、別紙資料1の通り行った。

## II. 表彰・コンクール事業

### 1. MOA美術館児童作品展

美を通して心の教育、「美育」を進めていくべく、家庭、地域、学校と連携し、日々

取組んでいる創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間」形成を目的として第31回MOA美術館児童作品展を実施した。

(1) 選考方法

- ① 地方展：実行委員会による地方展が国内374会場、海外35会場で開催され、応募作品439,893点から各会場が行う審査会において最優秀作品を決定した。
- ② 全国展：地方展で選ばれた各会場最優秀作品をMOA美術館に集め、文部科学省教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、教育委員会指導主事等で構成される全国展審査委員会において、全国展入賞入選作品300点を選考し、文部科学大臣賞などの各賞を決定した。

(2) 賞の種類と点数

① (個人の部)

賞名	絵画	書写
a) 文部科学大臣賞	6点	6点
b) 外務大臣賞	3点	
c) 厚生労働大臣賞	1点	1点
d) 農林水産大臣賞	1点	1点
e) 環境大臣賞	1点	1点
f) 日本PTA全国協議会会長賞	1点	1点
g) 全国子ども会連合会会長賞	1点	1点
h) ボーイスカウト日本連盟理事長賞	1点	1点
i) 審査員賞	2点	1点
金賞から入選 270点 (絵画 203点 書写 67点)		

② (団体の部)

- a) 文部科学大臣賞学校奨励賞 6校 (8,419校中)  
 学校・地域・家庭ぐるみの豊かな情操教育の充実に寄与し、優秀な作品を多く輩出している小学校に対して、文部科学省から文部科学大臣賞学校奨励賞を以下の6校に下付。  

石川県	金沢市立	杜の里小学校
静岡県	伊東市立	宇佐美小学校
岐阜県	大垣市立	東小学校
大阪府	豊中市立	上野小学校
大阪府	藤井寺市立	道明寺小学校
岡山県	倉敷市立	児島小学校
- b) 厚生労働大臣賞 2 児童作品展実行委員会  
 児童作品展を中心に、地域の医療機関での作品展示、ボランティア協力、地

域のコミュニティー施設等での日本文化の実践等を通じて、子どもたちの健全なる育成に寄与する活動をしている実行委員会に対して、厚生労働省より、厚生労働大臣賞を以下2児童作品展実行委員会に下付

岩手県 県北児童作品展実行委員会

香川県 中讃児童作品展実行委員会

### (3) 表彰ならびに展覧会の開催

- ① 表 彰：表彰式を令和2年1月26日(日)に、農林水産省生産局長 水田正和氏、環境省自然環境局長 鳥居敏男氏他の来賓を迎え、MOA美術館能楽堂に於いて開催した。
- ② 展覧会：令和2年1月11日(土)～2月12日(水) 於：MOA美術館・円形ホール
- ③ 後 援：文部科学省、外務省、厚生労働省、農林水産省、環境省、日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本PTA全国協議会、公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、全国新聞社事業協議会、公益財団法人海外日系人協会、全国連合小学校長会
- ④ 図 録：全国展の入賞作品、感想文、歴代受賞者の歩みをおさめた「第31回 MOA美術館全国児童作品展」の図録を作成し、関係者に配布した。

### (4) 周年記念事業－国際交流児童作品展について

- ① 米国では、令和元年5月25日(土)～31日(金)ハワイ州庁舎にて日米交流展を開催した。
- ② タイ国では、令和元年8月6日(火)～11日(日)文部省ランシット教育科学センターにて日タイ交流展を開催した。

## 2. 芸術選奨

### (1) 賞の交付

- ① 東日本伝統工芸展 MOA美術館賞
- ② 日本伝統工芸展 奨励賞
- ③ 日本伝統漆芸展 MOA美術館賞
- ④ 伝統工芸日本金工展 MOA美術館賞

### Ⅲ. 体験活動等の事業

#### 1. 日本文化の体験

茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事業を、美術館開館日に、MOA美術館の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行うとともに、MOA美術館及び外部における茶会などを行った。

##### (1) 茶会

###### ① 第34回光琳乾山忌茶会

創立者の構想に基づき造営した京都広沢池畔・平安郷において、尾形光琳、尾形乾山の命日に因み、顕彰する茶会を開催した。

期 日：令和元年6月2日（日）・6月3日（月）

会 場：京都・平安郷 嵯峨広沢池畔

席 担 当：濃茶席 潮田東洋庵

薄茶席 名古屋美術青年会

薄茶席 MOA美術館

参会者数：798名（内訳 6月2日 361名 6月3日 437名）

###### ② 初釜

期 日：令和2年1月17日（金）

会 場：MOA美術館・一白庵

参会者数：18名

##### (2) 体験プログラム（お茶、お花など）

###### ① 旅行社とタイアップした茶室見学・体験

日経カルチャー、クラブツーリズム等をはじめとする各旅行社とタイアップし、MOA美術館の光琳屋敷や茶室一白庵のガイドツアーを実施し、日本の伝統的な建築・庭園空間を五感でお客様に味わっていただく取り組みを行った。なお、このガイドツアーの内容は、近隣観光施設の従業員研修や東海地区の教育者・美術愛好者グループの研修にも活用され、その受け入れを行った。

###### ② 箱根美術館では、令和元年7月23日（火）～8月18日（日）の夏休み期間、小中学生対象に、展示作品を楽しみながら鑑賞していただくため「おもしろクイズ」を実施し、169名が参加した。

##### (3) 能楽教室 体験・講座と能楽鑑賞

能楽器体験、能楽講座と能・狂言の鑑賞を行った。

期 日：令和元年8月21日（水）

講 座：小鼓方大倉流宗家 大倉源次郎

鑑賞：宝生流「土蜘蛛」辰巳大二郎  
和泉流「柿山伏」野村萬斎  
参加者数：能楽講座と鑑賞 474 名

#### IV. 主催公演・講座・セミナー事業

##### 1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会や野外における薪能、コンサート等の公演を行った。

##### (1) 定期演能会（2回開催）

① 期 日：令和元年6月22日（土）（入場者数 358 名）  
演 目：能「杜若」宝生流宗家 宝生和英 他  
狂言「蚊相撲」和泉流 野村万蔵 他

② 期 日：令和元年11月30日（土）（入場者数 469 名）  
演 目：能「紅葉狩」喜多流 栗谷明生 他  
狂言「墨塗」和泉流 三宅右近 他

##### (2) 舞踊・常磐津・囃子と月の道薪能 - 熱海の森羅万象に捧ぐ—入場者数 2,100 名)

会 場：熱海サンビーチ特設会場

主 催：あたま月の道薪能実行委員会／公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

期 日：令和元年5月19日（日）

後 援：熱海市、熱海市教育委員会、熱海市観光協会、熱海商工会議所、熱海温泉ホテル旅館協同連合会、(株)エフエム熱海湯河原、(株)伊豆急ケーブルネットワーク、熱海新聞、伊豆毎日新聞

演目出演：舞踊「三下り甚句」ほか／芸妓置屋連合組合

新作能舞「水月」／辰巳満次郎 他

一調一管「弄月」／福原寛、堅田喜代

舞踊・常磐津「東都獅子」／花柳あらた 他

狂言「棒縛」／善竹十郎 他

能 宝生流「天鼓」／辰巳満次郎 他

##### (3) 坂東玉三郎舞踊公演（入場者数 6/15 472 名 6/16 488 名）

会 場：MOA美術館能楽堂

期 日：令和元年6月15日（土）・16日（日）

演 目：「雪」「葵上」「鐘ヶ岬」

出 演：坂東玉三郎（踊／重要無形文化財「歌舞伎女方」保持者）  
富山清琴（三絃・唄／重要無形文化財「地歌」保持者）、



富山清仁（箏）

(4) コンサート

- ① 坂田明 渡来塵 能楽堂コンサート（入場者数 525 名）  
期 日：令和元年8月3日（土）  
会 場：MOA美術館・能楽堂
- ② 井上涼 びじゅチューン！ライブ（能楽堂＋スタジオ入場者数 1,347 名）  
期 日：令和元年8月4日（日）  
会 場：MOA美術館・能楽堂
- ③ 廖璽喬 Hsi-Chiao Liao チェロ フロアーコンサート（入場者数 194 名）  
期 日：令和元年8月24日（土）  
会 場：MOA美術館・メインロビー
- ④ アートボランティアの日 白鳥英美子コンサート（入場者数 293 名）  
期 日：令和元年9月29日（日）  
会 場：MOA美術館・能楽堂
- ⑤ 11/23 千住真理子 ヴァイオリンコンサート（入場者数 500 名）  
期 日：令和元年11月23日（土）  
会 場：MOA美術館・能楽堂

(5) 初春の舞

熱海芸妓置屋連合組合による初春の舞公演を行った。  
期 日：令和2年1月1日（水）（来場者数 443 名）  
会 場：MOA美術館・メインロビー

(6) 獅子舞

横浜・関古式囃子保存会による獅子舞と囃子演奏を行った。  
期 日：令和2年1月2日（木）・3日（金）  
（両日各3回公演、来場者数合計2,009名）  
会 場：MOA美術館・能楽堂

(7) 芸妓の舞「あたまおどり」

熱海こがし祭り協賛 熱海芸妓置屋連合組合によるあたまおどり公演を行った。  
期 日：令和元年7月16日（火）（来場者数112名）  
会 場：MOA美術館・メインロビー

## 2. 主催講座

### (1) 光輪花クラブ

創立者のいけばなとライフスタイルを学べる光輪花クラブとして、コース、カリキュラムを改定し、昨年度開始した「美的生活コース」に引き続き、令和元年7月より「芸術コースⅠ」を開始した。

(美的生活コース 4,234名 芸術コースⅠ 1,190名 合計会員数 5,424名)

### (2) 光輪花講習会

花のある生活の拡大を願い、花サロンや山月サークル等、気軽に生活に生かせる花の講習を実施した。

## V. 育成事業

### 1. スクールプログラム

#### (1) 紅白梅図屏風（複製）をはじめ美術品を通じた美育の推進

- ① 令和元年12月20日（金）森町立森中学校、森町立泉陽中学校、12月21日（土）森町立旭が丘中学校において紅白梅図屏風レプリカを用いた鑑賞授業を実施した。

#### (2) 日本工芸会と共催した工芸家のアウトリーチ授業の実施

##### ① 錫の小皿づくり教室

日時：令和元年7月19日（金）

講師：大角幸枝（重要無形文化財「鍛金」保持者）

対象：掛川市立和田岡小学校 6年生 24名

##### ② 呉須による湯呑の絵付け

日時：令和元年9月9日（月）

講師：本多亜弥（陶芸家）

対象：京都市立開晴小学校 5年生 88名

##### ③ 錫の小皿づくり

日時：令和元年10月3日（木）

講師：大角幸枝（重要無形文化財「鍛金」保持者）

対象：港区立芝小学校 5年生 71名

##### ④ 磁器の皿にデザイン

日時：令和元年10月10日（木）

講師：前田正博（陶芸家）

対象：熱海市立初島小学校中学校 19名

- ⑤ 磁器の皿にデザイン  
 日時：令和元年10月18日（金）、19日（土）  
 講師：前田正博（陶芸家）  
 対象：港区市立白金小学校 5年生 97名
- ⑥ 磁器の皿にデザイン  
 日時：令和元年10月24日（木）  
 講師：前田正博（陶芸家）  
 対象：掛川市立中央小学校 6年生 106名
- ⑦ 蒔絵スプーンづくり  
 日時：令和元年11月29日（金）  
 講師：室瀬和美（重要無形文化財「蒔絵」保持者）  
 対象：熱海市立伊豆山小学校 4年生 12名
- ⑧ 磁器の皿にデザイン  
 日時：令和2年1月21日（火）  
 講師：前田正博（陶芸家）  
 対象：港区市立芝小学校 4年生 59名
- ⑨ 磁器の皿にデザイン  
 日時：令和2年2月5日（水）  
 講師：前田正博（陶芸家）  
 対象：港区市立筭小学校 4年生 70名
- ⑩ 磁器の皿にデザイン  
 日時：令和2年3月16日（月）、17日（火）  
 講師：前田正博（陶芸家）  
 対象：港区市立青山小学校 5、6年生 85名
- (3) 版画「東海道五十三次」を活用した出張美育セミナーの実施  
 ① 令和2年2月1日（土）玉野市立玉原小学校6年生23名、玉小学校5、6年生36名を対象に実施した。
- (4) 教職員への研修授業  
 ① 令和元年12月28日（土）東京学芸大附属小学校教員を対象に「東海道五十三次」を用いた鑑賞授業についてのセミナーを実施した。
- (5) 中学生や高校生の職場体験学習の受入れ  
 ① 令和元年8月6日（火）～8月7日（水） 函嶺白百合学園高等学校2年生2名の

職場体験（受付、茶室の実習）を箱根美術館にて受け入れた。

## 2. 花による美育活動の推進－MOA美術文化インストラクターの育成と資格の付与

- (1) インストラクター数 4,649名
- (2) インストラクターの資質向上を図る研修会を、美術館及び各地区で開催した。
- (3) インストラクター更新研修、及び3年毎の更新手続きを実施した。
- (4) 新規インストラクター審査を実施し、新たに148名に資格付与した。
- (5) 光輪花クラブ開講インストラクターへの経費補助、及びクラブ用花器の支給を行った。
- (6) 青年インストラクターの発掘、育成を図るユース研修（2回、22名）を行った。
- (7) 光輪花クラブを中心とする美育推進会合を定期的で開催した。（年6回）

## VI. 経営基盤の拡充

### 1. 経営改善

- (1) 顧客満足循環型経営への改善（職員の資質向上への取り組み等）
  - ① リニューアルオープン3年目を迎える中で、財団としてのポテンシャルを更に発揮できる体制整備を目的に、5月1日付けで組織変更および人事異動を行った。
  - ② 展覧会等の企画充実、インバウンド対策、広報発信力強化等を目し、その方面の専門的な技能・知識を有する新規人材を、若手を中心に積極的に採用・育成し、また待遇改善処置等を実施した。
  - ③ キャッシュレス化への対応、インバウンド対策等のため、PayPayを新たに導入、また昨年度導入したオンラインチケット販売システムを定期演能会等の芸能イベントまで拡張し、購入の利便性を改善するとともに、取扱いの習熟に取り組んだ。
  - ④ インバウンド対策強化の一環として、職員対象の英会話研修を実施した。
  - ⑤ 令和元年10月1日（火）からの消費税率変更に伴い、レジ設定更新・経理帳票類の改定等を行い、取扱いに関して職員への周知徹底を図り、円滑な運用を行っ

た。

(2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など

(MOA美術館)

- ① 熱海市内及び近郊施設への「前売り券」取り組みを行った。
- ② 熱海寮保養所協会との特別提携を行った。
- ③ 近郊の宿泊施設との入館及びイベント等のセットプラン造成に取り組んだ。

(箱根美術館)

- ① 箱根強羅公園、ポーラ美術館等、近隣施設との「共通割引チケット」相互販売に取り組んだ。
- ② 富士箱根ゲストハウスにおいて、4月から9月の期間、月2回、外国人宿泊客に対する美術セミナーを開催、茶の湯による日本文化体験コーナーも実施し、美術館への来館を促した。

(3) コスト削減と増収に向けた経営改善計画案などの策定

コスト削減と入館者増加に向けて経営改善に努めた。

(4) 寄付金制度（ファンドレイジング）の推進

- ① 税額控除対象法人の認定について、季刊誌、MOA美術館ホームページ等を中心に広報し、周知を図った。
- ② 美術品寄贈受入れに際して寄贈者非課税の申請を行い、国税庁長官から認定を受ける事ができた。美術品寄贈に伴う非課税申請は長年の課題であったが、今回の手続きを通じて知識・経験を積むことができ、今後の美術品受贈の進展と美術品展示公開を軸とする公益事業活動の充実に向けて一つの道が見ついた。

2. 入館者増加をめざした取り組み

(1) 展覧会やイベントに焦点をあてた広報・営業活動の推進

- ① ポスター掲示・チラシ配布
  - a) MOA美術館展覧会ポスターやチラシを熱海市内420か所及び全国312か所に掲出依頼した。
  - b) イベントチラシを作成し、熱海市内355か所に掲出依頼した。
  - c) 市内マンション61棟を訪問しチラシ配布掲出依頼した。
- ② マスコミへの情報提供
  - a) 展覧会、イベント等の情報を積極的に配信、取材の受入れを行った。

(2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み

(MOA美術館)

- ① 熱海市役所・熱海市観光団体（観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議所）との連携強化を図った。
- ② 熱海の秋のプロモーション事業として、舞踊・常磐津・囃子と月の道薪能を開催した。開催内容については、IV-1「主催公演」に詳述している。

(箱根美術館)

- ① 神奈川県西部地域ミュージアム連絡会の「ミュージアムリレー」を令和元年5月15日に開催、近隣施設関係者を含む参加者10名に対し、箱根美術館紹介セミナーを開催し、庭園を案内した。
- ② 小田原箱根商工会議所との連携で、茶室真和亭を利用した親子茶の湯体験を「小田原箱根大博覧会 なりわい体験」として、夏休み期間中3日間開催し、12名が参加した。

(3) ホームページやSNS等による広報の充実

- ① ホームページの更新
  - a) ホームページの内容を逐次確認し、表現及び画像更新の迅速化に努めた。
- ② フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどSNSの充実
  - a) 展覧会の見どころ、イベント情報などの発信に努めた。
  - b) 「フォロワー」の獲得数をバロメーターに、内容充実に努めた。

(4) 海外広報用ビデオの制作

MOA美術館の活動を広く海外に紹介する広報用ビデオを制作し、MOA美術館ホームページよりYoutubeを通じて世界に発信した。

- ① 第4回は4月6日、アートと健康、医療をテーマに、バチカン「聖なる芸術」部門代表インファンテ氏と東京療院鈴木療院長との対談を行った。
- ② 第5回は11月9日、文明、宗教、芸術をテーマに、ローマ教皇庁社会科学評議会議長マルセロ・サンチェス大司教と伊弉諾神宮本名宮司との対談を行った。

3. 施設の貸与事業

茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行った。

(1) 茶室の貸出

- ① 裏千家淡交会熱海支部一白庵初釜
- a) 開催日：令和2年1月19日（日）
- b) 参会者数：130名
- ② 第35回光琳茶会
- a) 開催日：令和2年2月22日（土）・23日（日）
- b) 席主
- 青々庵：濃茶席 飯田好日窓（東京）
- 樵亭：薄茶席 赤坂玄古庵（京都）
- 一白庵：濃茶席 MOA美術館
- c) 参会者数：406名（内訳：2月22日 221名 2月23日 185名）
- d) 今年は新しい試みとして、参会者対象に能楽堂で仕舞や能楽囃子の上演を行い、参会者からは「小鼓の素晴らしい響きに感動した」「日本の伝統芸能を能楽堂で見ることができ、一日楽しめる茶会だった」等の声をいただいた。
- 演目・出演者：2月22日
- 仕舞「高砂」辰巳和磨
- 仕舞「胡蝶」和久莊太郎
- 仕舞「難波」山内崇生
- 2月23日
- 独鼓「小袖曾我」謡 辰巳満次郎 小鼓 大倉伶士郎
- 独鼓「胡蝶」謡 辰巳満次郎 小鼓 大倉源次郎
- 一調「弱法師」謡 辰巳満次郎 小鼓 大倉源次郎
- (2) 能楽堂の貸出
- ① 源氏物語文学セミナー（開催数9回 参加者総数1,170名）
- a) 開催日：
- 平成31年4月16日（火）、令和元年5月21日（火）、6月18日（火）、7月16日（火）、9月17日（火）、11月19日（火）、12月17日（火）、令和2年1月21日（火）、2月18日（火）
- ※1)令和元年10月15日は台風19号上陸のため中止
- ※2)3月17日は新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- b) 講師：羽深恵美
- c) 開催場所：能楽堂
- ② 熱海地区安全運転管理協会 講習会
- 期日：令和元年7月5日（金）
- ③ あまねく会浴衣会（仕舞）
- 期日：令和元年7月28日（日）

- ④ 新作能 王昭君上演  
期日：令和元年7月28日（日）
- ⑤ 篠笛山口流「笛の会」  
期日：令和元年7月30日（火）
- ⑥ 熱海市成人式  
期日：令和2年1月12日（日）  
主催：熱海市・熱海市教育委員会生涯学習課
- ⑦ 熱海ジュニアグランプリ表彰式  
期日：令和2年1月19日（日）  
主催：熱海市青少年健全育成市民会議
- ⑧ 熱海市地震防災講演会  
期日：令和2年2月5日（水）

#### 4. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

##### (1) 美術館の安全確保に向けた対策

##### ① 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての更なる改善・改修

###### (MOA美術館)

- a) 能楽堂の同時通訳設備・音響・照明設備老朽化のため、配線、スピーカーや照明機器等の機器更新工事を昨年度に引き続き行い、能楽堂本来の機能を発揮でき、更に広範囲な芸能イベント実施等の用途まで耐えうるよう、環境整備を図った。
- b) 足の不自由なお客様の増加を踏まえ、転倒防止のため、茶の庭入口の門（唐門）の前の石階段に手摺を設置した。

###### (箱根美術館)

- a) 別館リニューアル工事を行った。
- b) 本館屋上防水シート工事を行った。

##### ② 美術館の防災、防犯の設備強化

###### (MOA美術館)

- a) 令和元年10月24日（木）に実施された地域の総合防災訓練に職員が参加した。  
また、大規模災害により来館者が美術館内で足止めをされた場合を想定した毛布・簡易トイレ・保存食料・飲料水の備蓄を追加した。
- b) 休館日の防犯体制強化の為、昨年度に引き続き休館日における入館受付・警



備を警備会社に依頼・実施した。

- c) 令和元年10月11日（金）～13日（日）にかけて襲来した台風19号により熱海市北部を中心に大規模な断水が発生、MOA美術館も影響を受け10月15日（火）～21日（月）まで臨時休館した。その間、特に貯水槽の衛生管理に努め、また茶室の雨漏り対策等、施設保全に努めた。結果、10月22日（火）より平常開館を再開できた。

（箱根美術館）

- a) 防災備品の確認や防災マニュアルの見直しを行うとともに、町内の自主防災会との合同防災訓練に参加した。

### ③ 危機管理体制の整備・強化

（MOA美術館）

- a) 法令および内規に基づき、特定個人情報（マイナンバー）の収集・利用・保管・廃棄における適正管理運用を行った。
- b) 館内等での不測の事故に備えた賠償責任保険その他の保険加入を本年度の来客数規模に合わせて見直し、更新・継続した。
- c) 新型コロナウイルス感染症流行に伴う対策として、令和2年3月2日より、一部施設を閉鎖した他、全職員がマスクを着用し、また入口や館施設の要所要所への消毒液設置、手摺や手洗等の清掃・消毒を徹底するなど体制を整えて、来館者の受け入れを行った。

## 5. 飲食及び物品販売

### (1) MOA美術館飲食コーナーの運営

観覧者に美術鑑賞をゆったりと楽しんでいただくための周辺環境の整備として、以下、直営2店舗の運営を行った。

#### ① 和食・甘味 花の茶屋

和食・和のスイーツを提供した。

#### ② the café

サンドウィッチ、菓子パン、シフォンケーキ、ソフトクリーム等の軽食およびコーヒー等ドリンク類を提供した。

### (2) ミュージアムショップの運営

箱根美術館売店

箱根美術館の開館日に営業を行った。

以上

□ 処務報告事項

1. 理事会並びに評議員会開催の件

- 理事会を平成 31 年 4 月 1 日より令和 2 年 3 月 31 日迄に 4 回開催した。
- 評議員会を平成 31 年 4 月 1 日より令和 2 年 3 月 31 日迄に 1 回開催した。

(1) 理事会に関する事

開催年月日		会議事項	
R. 1. 6. 10	議案	平成 30 年度 事業報告及び計算書類承認の件	可決
R. 1. 6. 10	議案	定時評議員会開催の件	可決
R. 1. 6. 10	議案	美術品寄贈受入れの件	可決
R. 1. 6. 10	議案	組織の変更及び人事異動の件	可決
R. 1. 6. 10	議案	科学研究費旅費規程改定の件	可決
R. 1. 6. 25	議案	代表理事選定の件	可決
R. 1. 6. 25	議案	業務執行理事選定の件	可決
R. 1. 7. 31	議案	相談役及び顧問選任の件	可決
R. 1. 7. 31	議案	稟議規程及び旅費規程変更の件	可決
R. 2. 3. 27	議案	2020 年度事業計画書及び収支予算書承認の件	可決
R. 2. 3. 27	議案	能楽堂の貸出に関する定め変更の件	可決
R. 2. 3. 27	議案	オーミラドー退去後の運営について	可決
R. 2. 3. 27	議案	理事会、評議員会の日程の件	可決

(2) 評議員会に関する事

開催年月日		会議事項	
R. 1. 6. 25	議案	平成 30 年度事業報告の件	可決
R. 1. 6. 25	議案	平成 30 年度 計算書類承認の件	可決
R. 1. 6. 25	議案	理事選任の件	可決

2. 職員異動の件

- (1) 採用職員 4 名
- (2) 退職職員 3 名
- (3) 職員数

	職員	㏍・男	㏍・女
計	43	26	17

以上